

**【建設業部会】12/16(土)改正建築基準法等講習会及び忘年会を行いました**

建設業部会では、講師に“宇田川建築設計事務所”の宇田川孝浩氏をお招きし、改正建築基準法等について講習会を行いました。令和4年6月17日に公布された改正建築物省エネ法・改正建築基準法により、2025年4月(予定)に省エネ基準の全面的な適合義務化や建築確認・検査の対象となる建築物の規模等の見直し等が行われます。質疑応答の時間には、建設業の様々な職種の参加者からたくさんの質問が出るなど、有意義な講習会となりました。講習会終了後は久しぶりとなる忘年会を行い、日頃の労をねぎらいました。



**令和6年能登半島地震**

**被災商工会会員・商工会支援募金にご協力をお願いいたします。**

商工会では、「令和6年能登半島地震」の募金活動を実施します。  
被災地では、年明け早々からの地震により甚大な被害を受け、いまだ避難所生活を強いられている方も多くあります。また、商工業者においても、その被害は計り知れません。被災地の一日も早い復旧・復興を願い、被災された商工会員及び商工会を支援するため、皆さまの協力をお願いいたします。本所及び支援センターでは、窓口に募金箱を設置しております。お預かりした募金は「全国商工会連合会」を通して、被災地へお届けいたします。ご協力をお願いいたします。

本所・支援センターともに、窓口へ募金箱を設置しております。



**能登半島地震  
支援募金**

ご協力ありがとうございます。

ご協力のほど  
お願い致します

**補助事業実績**

エネルギー価格高騰、生産性向上、就業環境整備、販路開拓等、国、島根県、奥出雲町が中小企業、小規模事業者に対し、様々な支援策を打ちだし、商工会も会員事業所に寄り添いながら以下の支援策について申請・実績報告のサポートをいたしました。

- ◆ (県) 飲食・商業・サービス業・建設業・製造業エネルギーコスト削減対策緊急支援事業補助金  
エネルギーコストを削減するための省エネに資する設備等の更新 申請21件 補助金総額22,959千円
- ◆ (県) ものづくり産業生産プロセス変革等支援事業助成金  
製造業者の省力化・自動化への設備投資等の取り組み 申請1件 補助金総額1,900千円
- ◆ (県) 女性活躍のための働きやすい環境整備支援事業補助金  
女性の就業環境の整備に関する取り組み 申請1件 補助金総額1,333千円
- ◆ (国) 小規模事業者持続化補助金  
持続的な経営に向けた販路開拓等の取り組み 申請1件 補助金総額500千円
- ◆ (町) 小規模事業者事業継続支援事業、地域商業重点支援事業、地域商業等支援事業補助金  
事業継続、販路拡大、新事業展開、地域商業機能維持の取り組み 申請14件 補助金総額3,776千円

**支援策について、お気軽に商工会にお問合せ・ご相談ください。**



**おくいずも商工通信**

Vol. 57

■本所 仁多郡奥出雲町三成324-15 TEL(0854)54-0158 FAX 54-0169  
 ■経営支援センター 仁多郡奥出雲町横田992-2 TEL(0854)52-1119 FAX 52-1196  
 発行月：令和6年2月 発行者：奥出雲町商工会



**年頭のごあいさつ**



今年も  
お願  
い  
致  
し  
ま  
す

まず初めに、今年1月1日に発生しました能登半島地震でお亡くなりになりました皆様に衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災されました多くの皆様にお見舞い申し上げます。  
 新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には穏やかな新年をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。また、旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられ、景気回復の兆しが見え始めました。しかしながら、依然として燃料や原材料価格の高騰が続く中、最低賃金の引き上げも行われ大変厳しい状況が続いています。今後も商工会は会員の皆様のお力添えができるよう、今できることに全力で当たっていく所存でございますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

奥出雲町商工会 会長 植田 良二

**4年振りとなる新年の賀会を開催しました**

令和6年1月10日(水)、雲州そば伝統産業会館にて糸原県議会議員、糸原町長をはじめ来賓15名を招いて新年の賀会を盛大に開催しました。植田会長はあいさつの前に「石川県能登半島地震での被災者の方々に衷心よりお見舞いと亡くなられた方へのご冥福をお祈り申し上げます」と述べ、「奥出雲町商工会としても県連と協議し、できる限りの支援を行いたいと思うので、今後皆様へも協力をお願いする」と伝えました。また、「物価高騰やエネルギー価格の上昇など経営へのマイナス要因が多い中、令和5年度は奥出雲町よりプレミアム付商品券事業の予算をいただき、昨年12月末の議会で令和6年度も引き続きプレミアム付商品券の予算化も計画していただいています。会員をはじめ奥出雲町民に少しでも支援ができることを嬉しく思います。」と感謝の言葉を述べました。「本年も役員一丸となって商工会活動に取り組んでまいりたいと思うのでよろしくお願ひ致します。」と伝え、また、来賓の皆様方は今回の地震等のお見舞いを申し上げられるとともに、商工会の発展に寄与し、これから今年一年は明るい良い年になるようにとあいさつを頂きました。

皆様の  
お祈りのご多幸を  
お喜び申し上げます

## 工業部会視察研修会～品質向上と生産性向上に対する情熱と地域社会貢献に対する経営姿勢を学ぶ～

工業部会では、去る12/15に13名の参加のもと、自社の事業内容や製造工程、製造・加工品等を紹介し合い、今後の販路開拓や事業マッチング等の新たなビジネスチャンスの発掘や、部会員相互の交流を深めることを目的として会員事業所（仁多地域）の視察研修会を実施しました。当日は、樹脂、金属の精密機械加工の工場として単品から量産品まで短納期で幅広い対応をしておられる(株)ガット様、多種多様な重機カウンターウェイトの一貫した生産体制を展開され、環境保護活動や地域との密接な関わりを大事にしておられる東洋製鉄(株)出雲仁多工場様、国内産の厳選した原材料を使い、麴造りから熟成までの一貫した製造工程や木桶醸造をはじめとする独自の取組み、無添加の商品造りに取り組んでおられる(有)森田醤油店様の3社へ伺いました。顧客ニーズへの臨機応変な対応や品質向上に対する情熱、生産性向上に対する飽くなき探求心をはじめとした全社的な経営努力はもちろんのこと、自社の発展のみならず、地域経済の活性化、地域社会貢献に対する経営姿勢には改めて感心いたしました。



横田支部視察研修会

横田支部では11月26日～27日の2日間、関西方面へ4年ぶりに宿泊を伴う県外視察研修を会員20名の参加で行いました。視察先として朝のNHK連続テレビ小説で放映された「まんぷく」のモデルとされている安藤百福(日清食品創業者)の記念館である「カップヌードルミュージアム安藤百福発明記念館」を訪れ、食育体験としてオリジナルのカップラーメンを製作しました。日曜日とあって記念館には沢山の方が訪れていて大変賑わっていました。また阿倍野区にあるあべのハルカスの見学をしました。2日目には和歌山の紀三井寺まで足を伸ばし和歌山港よりフェリーに乗り、四国経由で帰ってきました。久しぶりの県外視察研修とあって楽しく会員相互の交流等をはかることができました。



三成支部視察研修会

三成支部では、1月23日に木次線利用促進助成事業を活用し、鳥取県八頭町にある「大江ノ郷」への視察研修を実施しました。まず、大江ノ郷リゾート内に閉校となった小学校を宿泊施設として蘇らせた「OOE VALLEY STAY」(オオエバレーステイ)を見学しながら説明を聞き、昼食後は大江の郷の生い立ちから、今後目指していることなどについてお話を伺いました。その後、バスの中では16名の参加者の方から様々な意見や感想も聞かれ、親睦を深めながら、有意義な意見交換が出来ました。



OENOSATO RESORT

“KISUKI LINE”  
On the train

OOE VALLEY STAY

## BCP（事業継続計画）策定に対する機運の醸成～地震発生を想定してグループワークを実施しました～

近年、地震・豪雨等をはじめとする自然災害が多発し、加えて、新型コロナウイルス等の感染症拡大等により、地域経済に大きな影響が及ぶことを踏まえ、商工会は事業者の自然災害対応への動機付けや速やかな事業の復旧、円滑な事業継続の重要性を知っていただき、事業継続計画（以下BCP）の策定と有事の際の適時適切な対応を求められています。そこで、商工会地域振興活動強化事業（県補助金）を活用し、講師に(株)アヴェントゥリスト代表取締役 細田太一氏をお迎えし、ワーキング準備委員会を設置して、BCP策定を検討すると共に、BCPに対する機運の醸成を目指しました。9/22には正副会長、各支部長、役場担当者、商工会職員の総勢18名の参加のもとグループ討議を行い、地震発生を想定したBCP演習を実施し、課題の抽出及び集約、課題に対する対応方法等について協議しました。今後は、ワーキング準備委員会で協議した内容を基に、商工会のBCP策定を目指す共に、会員事業所のBCP策定支援を行っていくこととしています。



※BCP（事業継続計画）  
「Business Continuity Plan」の  
頭文字をとった言葉で、災害時等  
の緊急事態の際に企業等が損害を  
最小限に抑えつつ中核業務を継続  
あるいは早期復旧するための計画

BCP

バル事業報告会を行いました

1月17日伝統産業会館で実績報告会を実施しました。今年度のバルについてお客様アンケートや参加店アンケート結果を基に、参加者全員で来年度バルの開催をどうするか、開催時期はいつに設定するのか等意見交換しました。おきずもバルは飲食店だけでなく業種を超えて町内のお店が参加することで「町歩き」や「食歩歩き」といった町のにぎわい創出するため、来年度も開催する方向で参加者全員の意見がまとまり、なごやかに閉会しました。

奥出雲バル実行委員会では、来年度のバルに向けて一緒にバルを企画するメンバーを募集しています！！我こそはと思われる方は、ぜひ事務局までお声掛けください。お待ちしております！



## 経営分析・事業計画策定セミナー～自社の強みを活かした事業計画策定と補助金活用術～

昨今の新型コロナウイルス感染症拡大や不安定な世界情勢に起因する原油高や物価高騰、多様かつ複雑化する市場ニーズ等、激動と変化を続けている経営環境下において、時代やニーズに適応した事業を展開するための知識と能力を習得し、経営の安定維持に繋げることが必要不可欠となっています。そこで、商工会では1/24に、いけだ経営デザイン研究所代表で中小企業診断士である池田安弘氏を講師に招き、経営分析・事業計画策定セミナーを開催しました。内容は事例研究による経営分析のやり方、経営分析に基づいた事業計画策定の手順と考え方、補助金申請する際のポイント等について学びました。今後も、経営分析による現状把握や課題を明確にしたうえで、実効性の高い事業計画策定に関する支援を継続することで、事業者の皆様の経営課題を解決すると共に、事業の持続的発展に繋げていくことを目的としたセミナーを開催していきます。



事業計画

